

企業文化の醸成を加速させ、 企業価値の向上を推し進めてまいります。

「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」という経営理念のもと
当社グループのステークホルダーのすべての方に満足いただく
「And Game」の実現のため、従業員各自が自律的にお客様に
満足いただける努力を怠らない企業文化の醸成を加速させ
企業価値の向上を推し進めてまいります。

2021年10月
FDK株式会社 代表取締役社長
長野 良

「経営理念」の制定

当社は、2019年10月に10年後のあるべき姿として「10年の計」を制定いたしました。

そのあるべき姿の実現に向けた重点項目の一つとして「各自が自律的にお客様に満足いただける努力を怠らない企業文化の醸成」を掲げております。また、当社は2020年度は創立70周年を迎えた節目の年であり、従業員一丸となって新生FDKとして歩み出したいという思いから、経営理念を制定するとともに、2021年4月より制服を一新いたしました。

これらの取り組みを推進するにあたり、従業員全員で計画を実現し、また従業員全員が会社に誇りと愛着を持てるよう、当社グループ全従業員による投票を経て決定いたしました。

経営理念の制定にあたっては、当社グループ従業員の思いを最大限反映し、また持続性を持たせ、当社の理念としてふさわしい理念とすべく、経営陣および選抜された従業員で構成された経営理念プロジェクトを発足させ、当社の経営理念を決定いたしました。

また、新制服につきましては、「力強さ」とともに「躍動感と清潔感」を表現し、LGBTなどの多様性を尊重し、世代・男女を問わずTPOを考慮したデザインとIEC規格対応(静電気帯電防止)とし、安全性と快適性にも配慮して決定いたしました。

FDKグループ経営理念

「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」

経営理念に込めた思い

- 進化に** 固定概念や自分の殻を打ち破る
日々変化し続ける多様な世の中に柔軟に対応
- 挑戦** チャレンジすることを恐れず、一歩踏み出す勇気
を持って失敗から学び、互いに助け合い、成長を
繰り返す組織風土をつくる
- 輝く
未来と** 世界の人々の快適な日常と利便性の提供
地球と生命にやさしい環境保全の取り組み
そして私たち自身が活き活きと輝きを放つ働き方
- 笑顔の
ために** 社員、仲間、家族、大切な人たちの笑顔が絶えない
世の中になることを願って

当社は制定した経営理念のもと、社会から必要とされ信頼される企業を目指し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

FDK企業行動指針の見直し

当社のCSR基本方針は、FDKグループで働くすべての人が積極的に実践すべき内容を示した「FDK企業行動指針」および富士通グループの一員としてのグループ理念である「FUJITSU

Way」を実践することとしています。

FDKグループ経営理念を制定するにあたり、FDK企業行動指針の見直しを行いました。

見直したFDK企業行動指針は、「経営理念」「Vision」「行動基準」「行動規範」を包括したものといたしました。

FDKグループのCSRマネジメント

FDKグループでは、「FDKグループCSR基本方針」を制定しており、その実践にあたって重点的に取り組むCSR基本方針にもとづく重点課題を定めています。これら重点課題への取り組みを通じて、グローバル企業として責任ある経営を推進しています。取り組みの推進にあたっては、CSR推進委員会を設置し、CSR基本方針にもとづく重点課題進捗の定期的なレビューを行っており、重点課題に関する取り組みを進め、社会課題の解決に貢献するという当社ビジョンの実現に努めています。

コーポレート・ガバナンスに関しては、その充実が企業の健全性、透明性の向上と株主価値の向上につながるものと考えており、コーポレート・ガバナンス・コードの原則を踏まえた経営活動を行っています。さらに、よりグローバルな視点でCSRの取り組みを進めるため、国際的なCSR規範(ISO26000および富士通グループとして加盟しているRBA)等への準拠活動を国内外の事業拠点およびサプライチェーンに展開してい

ます。また、法令遵守を確実にし、社会的な要請に対応するため全社的な組織として、「安全衛生委員会」、「リスク・コンプライアンス委員会」、「環境管理委員会」、「含有化学物質管理委員会」、「輸出管理委員会」などを設置しており、消費者課題については、「製品安全化推進委員会」を設置して、適切な品質、安全性を確保するための品質保証体制の充実を図っています。FDKグループでは、SDGs(国連の提唱する持続可能な開発目標)のうち、特に4つの目標の達成に貢献するために、SMD対応小型全固体電池、ニッケル亜鉛電池、水素/空気二次電池などの次世代電池の生産・開発を行っています。既存の製品、サービスに加えて今後の社会の発展を支えるIoT、モビリティ、社会インフラなどの市場に、これらの次世代電池を始めとする新たな製品を提供し、社会課題の解決に貢献してまいります。カーボンニュートラルへの対応としては、富士通グループの中長期環境ビジョンで2050年CO₂排出ゼロを掲げており、またRE100の目標として事業活動の電力について再生可能エネルギー比率を2030年に40%以上、2050年に100%の目標としています。FDKグループは富士通グループの一員としてこの目標に合わせて活動してまいります。本レポートを通じてFDKグループのCSR活動についてのご理解を賜れば幸いです。FDKグループのCSR取り組み推進のため、ステークホルダーの皆様から忌憚のないご評価、ご意見を賜りますようお願い申し上げます。